

学生の皆さんへ

サークルやゼミの飲み会など色々な機会でお酒の席に参加すると思いますが、過度の飲酒などで、救急搬送や重大な事故が生じることのないよう、自己の許容範囲を正しく認識し、節度ある行動を取るようしてください。

団体での懇親会等で飲む機会などでは、団体の管理責任も生じます。

飲酒についての正しい知識を学び、普段からも意識して、注意するよう心掛けてください。

なお、本学構内の飲酒は禁止となっています。

【飲酒の心得】



- 未成年飲酒をしない、させない。
- イッキ飲みは決してしない、させない。
- 無理な飲酒はしない、させない。
- 服薬中は飲まない、飲ませない。
- 飲酒後は運転はしない、させない。

【飲酒事故を防止するために】



① 酔いつぶれた人への応急処置

※泥酔すると危険なのが、よくあるケースでおう吐物を喉に詰まらせ窒息死してしまう状況

- 絶対に一人にせず、目を離さない。
- おう吐物で窒息するのを防ぐために横向きに寝かせる。
(×仰向け、うつ伏せにはしない。)
- 衣服をゆるめて楽にする。
- 体温低下を防ぐために毛布などをかける。
- 無理に揺り動かしたりしない。
- 酔いを覚まそうと、意識がない状態で無理に飲み物を飲ませない。

② こんな時にはすぐ救急車

※泥酔と昏睡は紙一重で、危険な時は救急車の要請をためらわないこと。

- 大いびきをかいて、呼んでもつねっても無反応
- 呼吸が異常に浅い、または異常にゆっくり
- 意識がなく、口から泡を吹く
- 血が混じるような激しい嘔吐
- 失禁
- 手足が痙攣

飲酒の場ではお互いが酔っているため、適切な処置が後手になりがちです。

「しばらくすればよくなるだろう」、「ことを大げさにしたくない」といった安易な気持ちが手遅れとなってしまいます。

病院へ運ぶ場合も、救急車でなければ適切な処置が出来ません。

応急処置とともに迷わずに、すぐに救急車を呼びましょう。